

R5 南相馬市授業改善プラン

『学んだことをつかう授業』Ver.2

～ 知っていること、学んだこと、身につけた技や力を活用する授業づくり ～

南相馬市教育委員会学校教育課

各種学力調査の結果から、南相馬の子どもたちは、各教科における基礎的な学習内容は定着してきていることがわかりました。先生方の個に応じた丁寧な学習指導により、現学年における学習内容は身につけており、深い学びへ向かう土台が整ってきたと言えます。しかしながら、活用問題や記述問題では、全国平均正答率との開きが大きいとの結果が出ています。活用力を高めたり、自らの言葉で考えを書いたりすることができるように、「まとめ・ふり返し」から逆算した授業づくりの中で、学習活動を精選したテンポの良い授業を意識しましょう。

令和5年度も、「学んだことをつかう授業」づくりに視点を当てて、子どもたちのがんばりに応えていきたいと思えます。子どもたちが知っていることや学んだこと、身につけた技や力を活用した、子どもが主役の授業をつくっていきましょう。

「4つのポイント」を意識した授業づくりからスタート！

1 子どもの学習意欲・探究心を高める「課題提示」

- 子どもの「?」「!」「…」を引き出し、学びたい!があふれる「課題提示」
- 何を学ぶのか、何ができるようになるのかがイメージできる「課題提示」

コンパクト＆インパクト

2 お互いが対話・協働して課題を解決する「学び合い」

- 何をどう話し合うのか、話し合いの目的・方法が明確な「学び合い」
- 互いの考えを尊重・理解し、自由に対話・意見交換できる「学び合い」

子どもの力を引き出す発問

学び合いをコーディネート

3 できた! わかった! そうなのか! を実感させる「まとめ」

- 全体で考えを共有し、学級のベクトルが一つになる「まとめ」
- 学習のめあてを意識し、本時のねらいに迫る「まとめ」

めあてとまとめの整合性

4 学習のまとめ、学んだことをしっかりつかう「ふり返し」

- 子どもの習熟に合わせた「解くふり返し」と「書くふり返し」
- 家庭学習や次時の学び、日常生活につながる「ふり返し」
- 習熟度に応じて、視点を変えて、繰り返し挑戦して、…。深い学びへ!

各教科の見方・考え方を生かす

～ 学んだことをしっかりまとめ「もっと解きたい!」「早く書きたい!」で深い学びへ ～

『解くふり返し』

習得した知識や技を活用し、**適用問題や応用問題を繰り返し解く**ことで学びが深まります。

- 習熟度に合わせて適用問題を自分のペースで解く
- 自分やペアで考えた問題を、友達同士で解き合う
- 複数の資料やグラフを関連付けて事象を読み解く

『書くふり返し』

学習したことを**自分の言葉でまとめる**ことで、考えが広がり、学びが深まります。

- 学習してわかったことを自分の言葉でまとめる
- 友達の考えの良さに視点を当てて学びをふり返る
- もっと調べたいこと、次にやってみたいことを書く

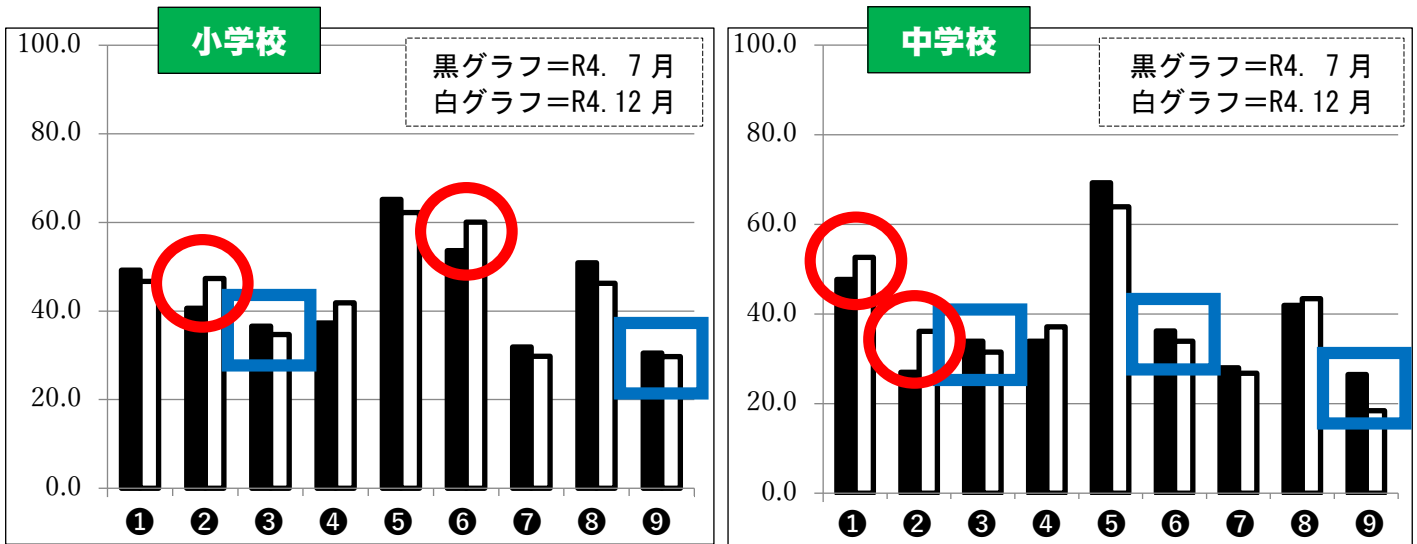
★ この教科なら、この単元なら、この時間なら、この子たちなら、…。○○○なふり返しができる!

★ 自分の学びをふり返し、学習内容をしっかり定着させたり、学んだことを整理させたりしましょう! また、自己の変容に気づかせ、学びの手応えを実感させることで、達成感や自己有用感を味わわせていきましょう!

「9つの課題」アンケート (R4. 7月、12月調査)

から見る子どもたちの頑張りや頑張りどころ

《 4段階評価の4 = 「そう思う」を抽出した数値 》



- ①話し合う活動をよく行っている。 ②資料を読み取り、自分の考えを話したり書いたりしている。
 ③自分の考えを説明したり発表したりすることが多い。 ④考えたことを、書いてまとめることが多い。
 ⑤ノートやプリントに本時のめあてとまとめを書いている。 ⑥授業の最後に練習問題を解いたり、感想を書いたりして学習内容を振り返っている。(R4 重点) ⑦家では、自分で計画を立てて勉強をしている。
 ⑧読書は好きだ。 ⑨授業中、先生からほめられたり、はげめされたりすることが多い。

小学校では、『②話したり書いたりする活動』、『⑥ふり返り (R4 重点)』について、ポイントが高くなってきています。中学校では、『①話し合う活動』、『②話したり書いたりする活動』が伸びています。対話や学び合いの場面における授業展開の工夫や学習スタイルを意識した授業づくりが進められていることがわかります。

課題は、小学校で伸びている『⑥ふり返り (R4 重点)』を中学校までつなげていくことや、『③自分の考えの説明・発表』のポイントを上げていくことです。わかったつもりになっていても、友達に説明したらうまく言えない…、わかったとうなずくけれど、鉛筆が進まない…、といったことは授業中によく見られる姿ではないでしょうか。また、『⑨ほめる・認める・励ます』は、子どもたちが主体的な学びに向かうエネルギー源です。「できた！⇒ほめる」、「わかった！⇒認める」、「ピンチ…！⇒励ます」を意識し、学習への意欲を、自信を、自尊感情を高め、子どもたちの学びに向かう力を育てていきましょう。

「9つの課題」をクリアする授業改善のポイント

①「ふり返り」の充実！

② 説明・発表 しっかりと！

③ ほめる！
認める！
励ます！

「南相馬の授業スタイル・授業改善プラン」&「R4 公開モデル授業アーカイブ」

「南相馬の授業スタイル」及び「南相馬市授業改善プラン」は、年度を越えても南相馬の子どもたちを育て続ける授業づくりの指針です。校内研修や個人研究など、授業づくりにおける授業改善の視点として意識し、南相馬の教職員が一丸となって、同一步調で授業改善に取り組んでいきましょう。

★ 経年の授業スタイル・授業改善プランはこちら



令和4年度公開モデル授業実践者

- 原一小：但 野 教諭 (小6算数科)
- 高平小：久保木 教諭 (小6国語科)
- 原三中：小 池 教諭 (中3英語科)
- 鹿島中：福 尾 教諭 (中1社会科)

★ 令和4年度 公開モデル授業アーカイブはこちら

